



# Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ?  
何か良いことあった？

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第21号 (2019/8/27) 福長 輝倅

## 今回のテーマ; タンザニア! マダガスカルの視点から見てみよう。

### 福長 輝倅 (FUKUNAGA TERUYUKI)

隊次: 2017年度2次隊

活動国: マダガスカル

赴任地: アンズルベ

(首都から約3時間)

職種: コミュニティ開発

前職: 教師(非常勤/社会科)

出身: 岡山県・岡山市



### マダガスカルってどんなところ?

公用語: マダガスカル語・フランス語

人口: 約 2500 万人 (日本の5分の1ほど)

国土: 587, 000 km<sup>2</sup> (日本より大きい!)

首都: アンタナナリボ

宗教: キリスト教及び伝統宗教、

少数派イスラム教

民族: 約 18 部族



### ① 違うところ - 動物はやっぱり全然違うや -

マダガスカルに生活してはや2年。もう目線はマダガスカル人。そこで、マダガスカルと違うな—と思ったところを紹介。



① イスラム教の子供たち; 道で出会った少年はおしゃれな白い服を着ている。彼はイスラム教徒で学校へ通うときの服装。マダガスカルもイスラム教徒の人がいるけどかなり少ない。

② 所作製鋼相(株); 中国語かな? いや違う、相澤製作所か! タンザニアは日本の中古車の輸入でとても有名。タンザニアは右ハンドルの国だから日本車が多い、マダガスカルは左ハンドル。

③ この絵がアフリカっぽい?; みんながイメージするアプリはこの絵の感じだと思います。しかし、モデルとなっている民族の一部は町のホテルでバイトしてました。皆さんの思うアプリっぽさは本当はあまりないのかも。

④ タクシーでなくUBER呼ぼう; タクシーは事件に巻き込まれたりするから危ない。そこでタンザニアではUber (UBER) というアプリで車を手配。早い、安い、すげえ。



⑤ 甘くてきれいなリンゴ; 赤くておいしそうなリンゴ。タンザニアはリンゴを作れず南アフリカから輸入しているマダガスカルはリンゴを作るが緑で甘くない、赤いリンゴっていいな。

⑥ 僕とおしりが似ているカバ; マダガスカルに住んでいるのは関係なく思った。「俺とおしり似とるな。」国立公園には、僕のおしりにそっくりなカバがたくさんいます。陸ではカバは最強なので近づかないで。

⑦ 腹が減らないライオン; ライオンを見つけたけど、ぼーっとしている。「狩りとかせんのか?」。なんと、ライオンは1週間に数回しか食事をしないらしい。腹減る僕はライオンになれない。

⑧ アフリカゾウのキバって何に使う?; サファリで見たかったアフリカゾウ! この立派なゾウのキバが日本でハンコに使われているらしい。ゾウのキバのハンコはやめて、100円均一でガマンして。



② 似ているところ — ビールの味好きは一緒だけど、味は全然違った —

次に、マダガスカルと似ているところをご紹介します。



①あわい色のきれいな絵；アフリカは蛍光色がよく似あう。けど、淡い色だって中々良いんです。マダガスカルもタンザニアも絵描きさんの絵が本当にうまい。買えばよかった。

②世界で食べる三角の揚げ物；タンザニアにもマダガスカルにもあるこの揚げ物。だいたいでこの国でも呼び方は似ている。インド料理の『サモサ』、インドとの交流のあかし。

③野菜はやっぱり積むんかい；マダガスカルの市場で思う「本当に野菜積むの上手」。しかしタンザニアだって負けじと積んでいる。美味しそうなお山を見つける作業は一緒。



④ビールは好きだが味は違う；マダガスカル人は THB というマダガスカル産のビールが大好き。そして、タンザニア人も「キリマンジャロ」と「サファリ」というタンザニア産のビールが大好き。けど、味は全然違う。僕はマダガスカルビールが好き。

⑤男のあこがれは一緒？；タンザニアの男性用の美容室の壁に髪型の写真。どの髪型も「髪と肌の際をキレイに剃っている」前も書いたけどみんなウイルスミスと一緒に。マダガスカルでもしっかり剃られます。

⑥トイレットペーパーも中国から？；トイレットペーパーに漢字が書いてある、、、「トイレットペーパーまで中国から来るんか！」アフリカでは中国でつくったものがあふれています。

③ どうして似ているものが多いのか？ — 人の行き来がもたらす交流 —

左の写真はマダガスカルで有名なバオバブの木。真ん中の写真はマダガスカルの一部の地域で作っているイス。右の写真はマダガスカルにもある遊び。どうして似ているものが多いんだろう？それは、多くの人がマダガスカルとアフリカで行き来していたから。ある人はキリスト教の宣教師として、ある人は奴隷として、ある人はビジネスマンとして。町をよく見てみるとマダガスカルとアフリカのつながりを感じます。



④ 話は変わりますが.. — 25 キロの山道を走ってみた —



最後に、マダガスカルのおすすめイベントをご紹介します。

この写真はガケが怖くてかっこいいポーズを決められなかった僕の写真です。こんな高い崖がたくさんある山道を走るマラソンがあります。その名も「イサロ・マラソン」

僕の友人の青年海外協力隊の人たちはみんな変な人。女性 2 人が 25 キロ、男性 3 人が 45 キロ、女性 1 人が 45 キロを完走、おまけに入賞した人もいたり。僕はひびいて 25 キロしか走れませんでした。なんせ僕は体重が 75 キロ、重たくて仕方がない。

けれど朝 6 時から朝日を見ながら町の人に応援されながら走るのは気持ちがいい。「次は東京マラソンでも狙ってみようかな？」と、マラソン後だけ思いました。今は「しばらくマラソンはいいや」と思います。